

令和5年度森林環境譲与税を活用した森林整備等事業の実施について

- ▶ 森林環境税及び森林環境譲与税は、平成30年5月に成立した森林経営管理法を踏まえ、パリ協定の枠組みの下における温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設されました。
森林環境譲与税は、喫緊の課題である森林整備に対応するため、森林経営管理制度の導入時期を踏まえ、令和元年度から市町村及び都道府県に譲与が開始されました。
- ▶ 森林環境譲与税は、市町村においては、間伐や人材育成・担い手の確保、木材の利用の促進や普及啓発等の「森林整備及びその促進に関する費用」に充てることとされ、その用途については、インターネットの利用等により公表しなければならないとされています。
- ▶ 令和5年度において、角田市では以下の取り組みを行いましたのでお知らせします。

1. 森林整備業務（私有林整備事業）

【事業費】7,993,700円（財源内訳：森林環境譲与税7,990,000円、一般財源3,700円）

【事業内容】集積計画を策定した6.41ヘクタールで間伐を行い、森林環境の適正化と森林の育成に寄与した。



2. 森林経営管理制度意向調査及び集積計画の策定並びに現況調査（意向調査、集積計画等作成事業）

【事業費】2,951,318円（財源内訳：森林環境譲与税2,940,000円、一般財源11,318円）

【事業内容】森林経営管理制度意向調査は、森林面積約100ヘクタール規模に区分けし、範囲内の森林所有者に対して意向調査を行った。意向調査結果に基づき、角田市へ管理を委託希望する森林の現況調査により施業方法等の検討を行い、0.61ヘクタールの集積計画を策定した。

3. 森林巡視業務（林道・林専道の整備等事業）

【事業費】480,000円（財源内訳：森林環境譲与税480,000円）

【事業内容】市内の山林及び林道（7路線）について、月1回の定期的な巡視を行うほか、簡易な修繕等を実施し、森林経営環境の保全等に寄与した。

4. 林道維持業務（林道・林専道の整備等事業）

【事業費】2,697,365円（財源内訳：森林環境譲与税1,000,000円、一般財源1,697,365円）

【事業内容】林道7路線（仙石線、峠～宮沢線、権原線、芋坊線、黒荷田線、大平線、西ノ入線）の路線清掃等を行い、林道の保全及び森林経営環境の整備を行った。

5. 手代木沼親水デッキ修繕（木造公共建築物の整備等事業）

【事業費】3,410,000千円（財源内訳：森林環境譲与税2,980,000円、一般財源430,000円）

【事業内容】老朽化に伴う手代木沼親水デッキの床板修繕について、AAC（防腐防蟻剤加圧注入加工）処理を施した県内産スギ材を部材として修繕を行い、施設の維持及び長寿命化に寄与した。

6. 森林環境整備基金

【事業費】15,834,448円（財源内訳：森林環境譲与税13,679,000円、預金利子及び木材売払収入2,155,448円）

【事業内容】次年度以降の事業に向けた基金への積立

＜参考＞	① 令和5年度森林環境譲与税交付額	13,679,000円	④ 人口（※3）	27,976人
	② 私有林人工林面積（※1）	2,351.35ha	⑤ 林業就業者数（※4）	32人
	③ 林野率（※2）	38.1%		

【使用データ】※1：森林資源現況調査（林野庁H29.3.31現在）、※2：2020農林業センサス、※3及び※4：令和2年国勢調査